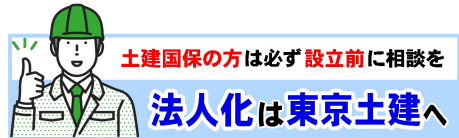


2025年11月1日付組織数
2,582名 (前月比+50名)
2025年1月1日付組織数2,652名



発行所
東京土建一般労働組合
小平東村山支部
小平市仲町381番地
電話 042-342-2846
FAX 042-342-2848
発行人 染矢 憲広
ホームページ
https://www.dokenkodahiga.jp

中間決起超バーベキューGT 221名が集結

タチヒビーチで 団結深まる

10月5日(日)、立川タチヒビーチに221名を集め、秋の仲間づくり中間決起バーベキューが開催されました。バーベキュー日和、追い風を吹かして目標達成だ！受付が始まると、各分会テント前では火起こしがスタート。谷口副委員長の乾杯を待たずに肉を焼く分会もチラホラ、早くもBBQが始まりました。

仲間づくり月間 粘りの秋 支部目標達成



今回の、仲間と対話しメリットを伝える「目指せ！横綱網取物語」は大いに盛り上がりま

した。特に美園分会は、川合分会長を先頭に、成果数・参加者数・行動件数で一位。最速で横綱昇進、見事、四冠達成！「仕事といっしょ



表彰を受けた
美園分会の皆さん

で段取り八分」とのことでした。その後の分会インタビューでも、美園分会さんには勢いがありました。

秋の仲間づくり 成果

分会名	成果	目標
花小金井	6	6
小平東	7	7
美園	8	7
一ツ橋	3	6
上宿	2	6
小川	3	6
野火止	7	7
柳瀬	6	6
北山	4	6
南	7	7
事業所・直属	43	29
合計	96	93

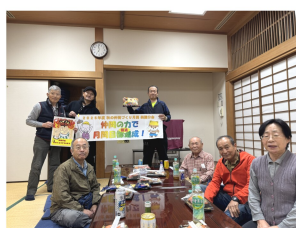
B B Q参加者の感想は2面へ

網取り物語が後押し！ 仲間の輪広がる



組織部
飛田部長

組合員、主婦の会の皆さん、秋の仲間づくり月間お疲れ様でした。皆様の頑張りにより支部目標を達成しました。本年は、網取り物語



←美園分会

→野火止分会



←花小金井分会



用水路

親しき仲にも礼儀あり、と言う言葉が有ります。元は中国から伝わってきたそうですが、

その境界線はどのへんでしょ？相手方にどう感じられるかであり、受け止め方によつては無礼として反感をかう。まゝ親しいのだから友人や家族が主にだろ。▼思い返せば、息子の晩ご飯の時笑いながらの一言「お父、現場の職人さんに何て言われていると思う？」ん？「愚地独歩(漫画の登場人物)！おろちどっぽとは、私の知るなかではトラを素手で仕留める空手家である。妻が反応しスマホを見た一言、お父眼帯してないよ。いやそこじゃないって思いつつも食卓には笑いがあつた。▼十代の時にはバッファローマン、あの頃はたしかに髪があつたな。直ぐそのあとサイヤ人ナツパ、まだまだ髪有ったけどな。その後、数年が過ぎ歳を重ね、若い仕事仲間たちから「染さん発見爆笑」とLINEでサノスの画像が来た！こんな肌の色してないって、しかしサノスの力はぜひ欲しい。▼そして最後に愚地独歩。すべて戦士、内三人パゲ、もはや笑うしかない。親しき仲に起る笑い。嫌な気持ちにはなかつたかなと振り返る。親しき中には礼儀笑いの有るお話し【教育宣伝部長・染】

参加者の声で振り返る 超バーベキューGT

乾杯と肉で交流深まる

心地よい秋晴れの下で、ただくビールは格別で、まるで海外のリゾート地にいるかのような開放感を味わうことができました。今回は前回以上にイベント内容が充実しており、特に綱引きでは屈強な男性陣による真剣勝負に圧倒されました。勝利チームへのご褒美「良いお肉」も絶品で、頑張ったからこそより一層美味しく感じられました！

また、バーベキューだけでなく、参加者全員が一体となつて盛り上げられる企画が満載で、大変充実した一日を過ごすことができました。スムーズな運営と行き届いたご配慮のおかげで、安心してイベントを楽しむことができました。回を重ねるごとにイベントがパワーアップしているのを実感しており、来年の開催も今から楽しみにしております。

家族と仲間と全力で

当日は、天候に恵まれる中、私は妻と子供3人と参加しました。開会式の挨拶の後、沢山の肉や野菜を先輩方が焼いてくださり、子



供達も珍しく食欲旺盛で妻と驚きました。

そして、東西分会綱引き大会に参戦。勝ったチームにはお肉の景品と聞き、皆やる気十分での結果は…有り難く娘達も美味しくいただきました。それから、一番上の娘と対抗リレーへ。私は一番手で責任重大でしたが、ミスを重ねてしまい、結果は最下位。でも、他の参加者の皆さんがとてもいい顔で笑っていたのが、私は印象的でした。大人もここまで楽しめるなんて、本当に貴重な体験でした。

その後は、色々な分会の方と交流する中で、仕事やプライベート、分会の後継者についてなど、さまざまなお話を伺うことができました。皆さんが色々な職種、職場環境、職場形態で働いている事を聞ける機会は本当に少なく、お酒を酌み交わしながらの意見がとても有り難かったです。【花小金井分会・松村竜男】

四万温泉で親睦深める 野火止分会 分会旅行を 一泊旅行に17名参加



10月13日（月祝）から2年ぶりの一泊旅行として上州三名泉の一つ、四万温泉へ。北山分会さんから2名、一泊旅行は初の参加者3名を迎えた17名で出発しました。▼最初の見学先は、おもちゃと人形自動車博物館。昭和が盛り沢山で、これが私設の博物館とは驚きです。懐かしい品々に、皆童心に帰っていたかと思えます。▼お昼は水沢うどんを頂き、奥四万湖へ。朝から曇天で



↑踊りを披露した皆さん

したが到着時には青空となり、四万ブルーと言われる綺麗な湖面を見ることができました。▼15時には四万やまぐち館さんへ到着。川沿いの露天風呂やこれまた昭和を思わせる館内等、良い雰囲気のお宿です。▼夜は、チェックイン早々に温泉そつちのけでリハをしたという、女性陣の踊りにカラオケ、なによりも美味しい食事と、宴の時間は短すぎました。お開きのあとは、一晩中入れる温泉や、おしゃ

青年部

笑顔あふれる木工教室

小平市民まつり



↑小物入れを作った子供たち

10月19日（日）、小平市民まつりで青年部が木工教室を出店しました。子どもたちにもものづくりの楽しさ

を広めてほしいと、小平市の要請を受けて毎年出店し、市長や各議員も視察に訪れるなど、地域に根ざした土建の取組を継続的にアピールしています。今年は、雨にも負けず指導員3人（うち部員2人）で71人の子供たちに指導、たくさん笑顔に囲まれた一日になりました。【書記・吉岡直将】

初参加者の声



事業所分会
都築雅斗さん（29歳）

初めて参加しましたが、多くの子供たちの笑顔を見ることができてうれしかったです。これからも、建設業界をもっと盛り上げるような、従事する人口が増えるきっかけづくりとなるような活動をしたいです。

群会議の窓

②上宿分会

10月号から、新しいコラム「群会議の窓」が始まりました。各分会が持ち回り、群会議の様子や雰囲気、工夫している点などを紹介します。

「10分間群会議ってどんなことをしているの?」「他の分会ではどんな話をしているの?」「そんな疑問に答え、仲間の活動を知りきつかけにしたいだけだと思います。」



↑2月に行われた群総会の様子

上宿分会では、11の群の内、公共施設の中島町地域センターに近い3・5・7群の3つの群が共同で群会議を開いています。分会・群の役員不足や高齢化への危機感から、2年前より10分間群会議への挑戦を始まりました。初めは「本当に皆、参加してくれるのか」と不安もありましたが、いざ開催してみると徐々に組合員が集まり、「群会議の話題」を使った会議にも積極的に参加して

初めに参加しましたが、多くの子供たちの笑顔を見ることができてうれしかったです。これからも、建設業界をもっと盛り上げるような、従事する人口が増えるきっかけづくりとなるような活動をしたいです。

べり等、各々楽しんで1日目を終えました。▼2日目、おいしい朝食を沢山頂いた後は小雨が降る中、有志9名にて近くを散策。千と千尋の神隠しの油屋のモデルとも言われる積善館さんを見学し、近くの遊戯場でスマートボールに挑戦。千葉分会長が百人に一人だよと

いう百玉を出し、朝から大盛り上がりでした。▼ゆつくり11時チェックアウト後は、道の駅川場田園プラザへ。約2時間の在で、昼食と買物、デザートと買物、と楽しみ帰路へ。▼次回は、若い家族も参加できる企画をしたいと思います。【野火止分会・栗山明】

● 求人情報 ●

【給排水衛生設備工事
及び
空調換気設備工事】



(有)高萩パイピングサービス

☎042-395-8119

条件等：普通自動車運転免許

負担軽減を目的に、今年の4月からは1日開催に変更することを初の群総会で決定しました。

群総会には7割を超える仲間が参加し、「群の役員交代制」や若手起用のための「群役員75歳定年制」も提案しました。協力を呼びかけたところ、「1年間、群会計引き受けますよ」

「1年は長いが半年、3か月交代なら」などの前向きな意見や、「家が遠いから難しい」「仕事が忙しいからできない」といった声も出ましたが、話し合いを重ね、7群では新しい群会計が誕生。3・5・7群では群長・群会計を1か月交代の輪番制で体験することになりました。ベテラン分会役員も運営をサポートし、毎月初参加の仲間が分会執行委員会に出席するきっかけにもなっています。

この他にも、開催場所を自宅から公共施設に移行することを目指し、検討を進めている群もあります。

群会議を通じて顔見知りが増え、分会のイベントや支部の後継者交流会への参加も活発になりました。群役員の交代制には課題もありますが、分会・群の運営は全員の協力があってこそ成り立ちます。今後各分会全体で力を合わせ、「みんなでやる」意識を持って取り組みを進めていきます。

【上宿分会・小澤史寛】